

調査研究代表者氏名：大林 浩幸

評価コメント

- ・所期の目的は達成できている。これを如何にして広く普及させ活用してもらうかが今後の課題であると思う。
- ・システムとしては確立したと評価できる。今後は指導を受けた方の予後・改善の評価を行っていただきたい。
- ・服薬指導体制を広域に組織化したことの功績を高く評価する。今後、このことによる患者側の変容を評価してその成果を明らかにすることと、他県・他地区への拡大の方策を提示されることを期待する。
- ・喘息患者の治療管理に薬剤師を活用する地域のシステムを確立できたことを評価する。
- ・薬剤師会と医師会の緊密な連携のもとに100%を受講率を達成した講習会の運営は立派なロールモデルである。
- ・喘息患者の吸入指導を薬剤師に分担してもらうことは、現在の日本の医療制度のもとでは、最も現実的でコストが少なくて済む方法である。吸入セミナーやその検定試験、さらに認定シールを店頭に張り付けることなど、薬剤師のモチベーションを高めることができるし、ここまで踏み込んでやったことは評価できる。
- ・このような研究はその成果を広く普及させて、持続させることが重要である。そのためには、このような方法がより広く、より高いレベルでオーソライズされることが望ましい。森グループが試みているようにインターネットを利用して普及させることも必要であるし、患者の喘息管理に実際に効果があったのか、また、薬剤師にメリットを与えることができたか否かを検証してみることも大事である。
- ・ほぼ完成したシステムである。その効果も喘息死激減で確認された。この地域での本研究の役割が終わったのか否か明らかにしてほしい。小児について、また、いかに全国展開するかについても検討が必要である。